

伊東市新図書館【再設計】基本設計の概要

令和6年8月



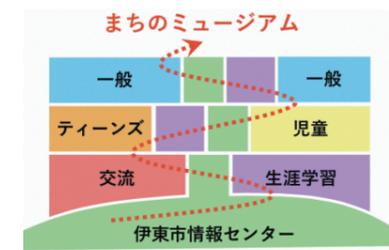
伊東の入り口「まちのミュージアム」をつくる

「国際観光温泉文化都市」である伊東は、独特の地形がつくる景勝地や温泉、体験型のものづくり拠点など魅力的な場所がまちじゅうに点在しています。ここへ来ると伊東の全てがわかる入り口として、郷土資料を中心に、まちのあらゆる情報を収集し再編集して、利用者や周辺地域、世界へと発信する「まちのミュージアム」を新施設の幹とします。「まちのミュージアム」を訪れた人は、伊東の様々な情報に出会い、それぞれの興味に応じて活動を行い、新しいまちの情報を創ります。誰もがまちの情報の創り手となることで『夢と未来を育む図書館』～ひとりひとりの創造拠点～を実現します。



伊東の生命力のある自然環境と有機的につながる

伊東の豊かな環境を象徴する大地とつながる緑豊かな環境をつくります。明るい場所や落ち着いた場所など環境のムラを積極的につくりだす「ヒダ壁」によって多様な居場所をつくり、施設を巡るだけでも伊東の環境を感じられる空間をつくります。施設全体を巡る「まちのミュージアム」が伊東のまちと連続した体験の場になることを目指します。





施設全体をつなぐ「まちのミュージアム」

テーマごとの資料配置とともに、上ってみたいくなる階段や他のフロアの様子が感じられる吹抜によって巡る体験をつくり、施設全体に「まちのミュージアム」を展開します。巡る体験が各フロア同士の連携を生み、様々な情報を繋げ、利用者の興味の連鎖を生み出します。

情報・活動・環境の拠り所となる「ヒダ壁」

様々な方向に開かれた「ヒダ壁」は伊東の豊かな環境に応答しながら多様な居場所を生み出します。「ヒダ壁」は空間を分節しつつ開くことで、フロア内に環境のムラをつくります。「ヒダ壁」を拠り所として活動と情報を一体的に計画することで、情報に出会う、活動・体験する、情報を創るというサイクルが生まれ利用者の創造活動を促進します。



建築概要

所在地 : 伊東市桜木町二丁目地内
 規模 : 鉄骨造一部RC造5階建て
 (駐車場は1階部のみ)
 敷地面積 : 4,012.29㎡
 延床面積 : 5,704.41㎡
 [施設屋内] 3,887.91㎡
 [1F屋内駐車場] 1,491.79㎡
 [軒下・広場等] 324.71㎡
 収容冊数 : 約25万冊
 駐車台数 : 約90台

平面図(1F) 施設の顔となる憩いのフロア

① 駐車場

・約90台を確保し、雨天時等も雨に濡れず入館できるような動線を設けます。

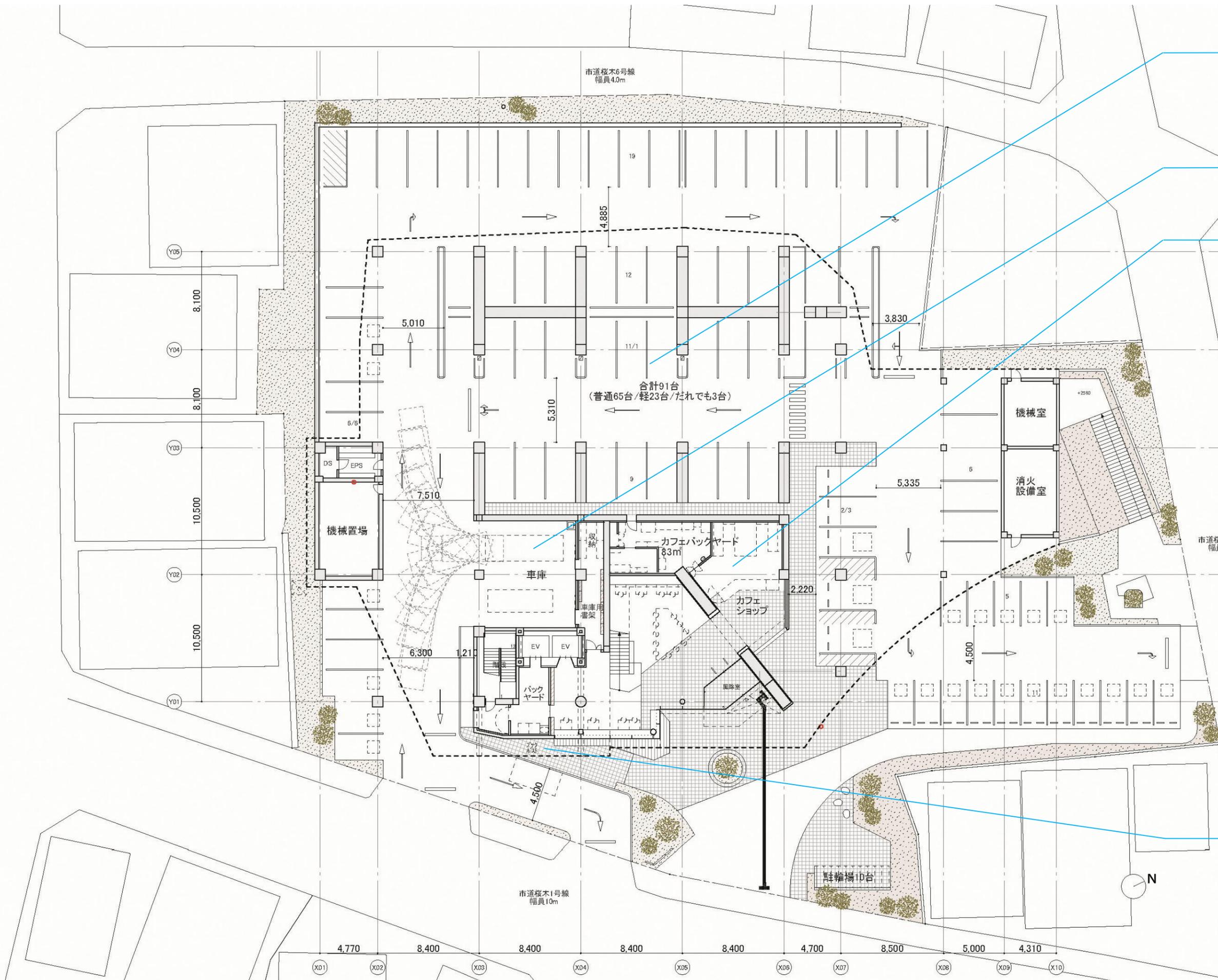
② 移動図書館専用車庫

③ カフェ・ショップ

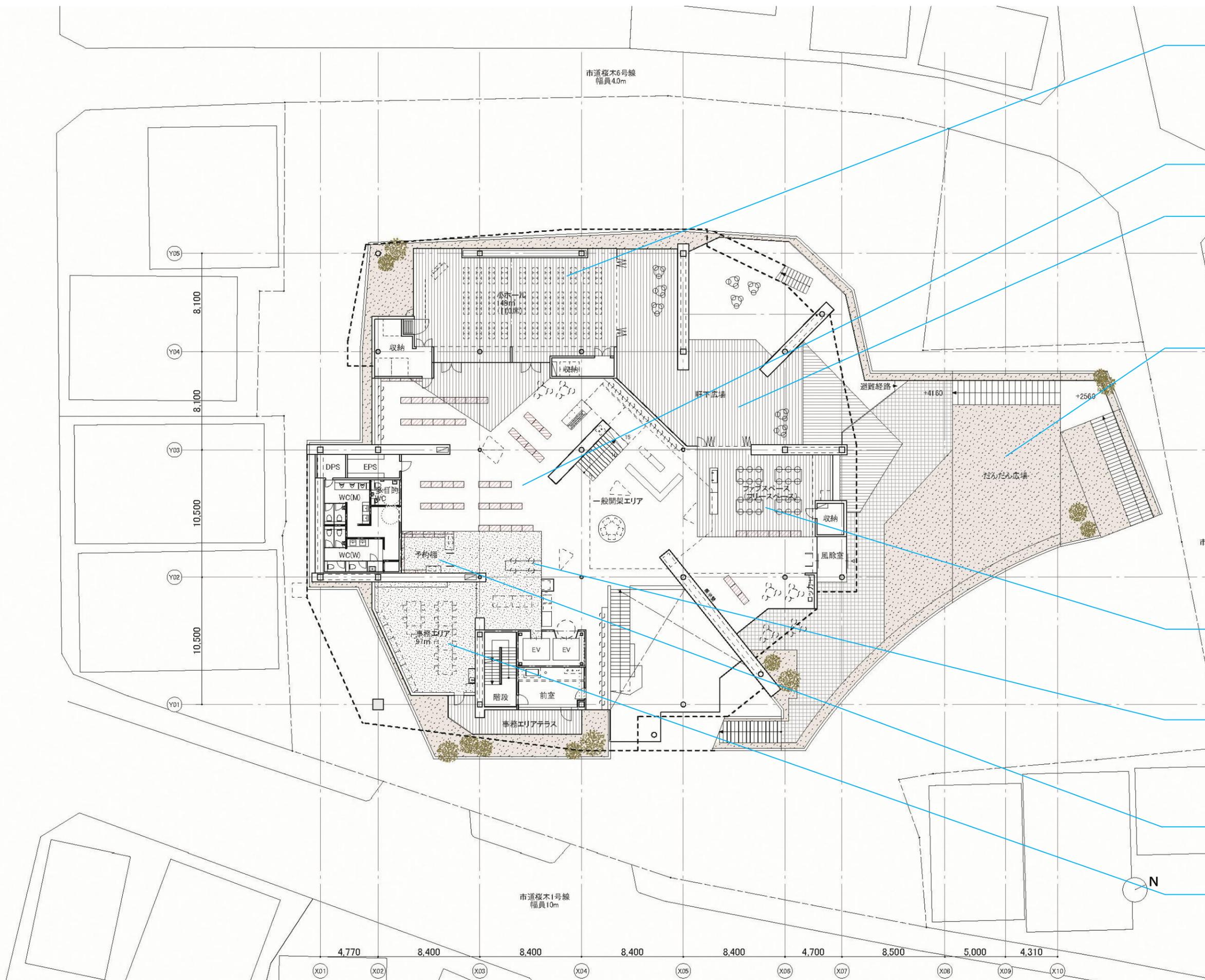
・エントランス付近に設け、これまでの図書館には無い、開かれた気軽に立ち寄れる空間とします。

④ ブックポスト

・車寄せの近くに設置することで、一時停車、降車での返却も可能とします。



平面図(2F) 丘とつながる創造のフロア



- ①小ホール**

・間仕切りによる2室化や軒下広場との一体利用など、多様な活動を想定したフレキシブルな空間とします。【最大110席】
- ②閲覧スペース**
- ③軒下広場**

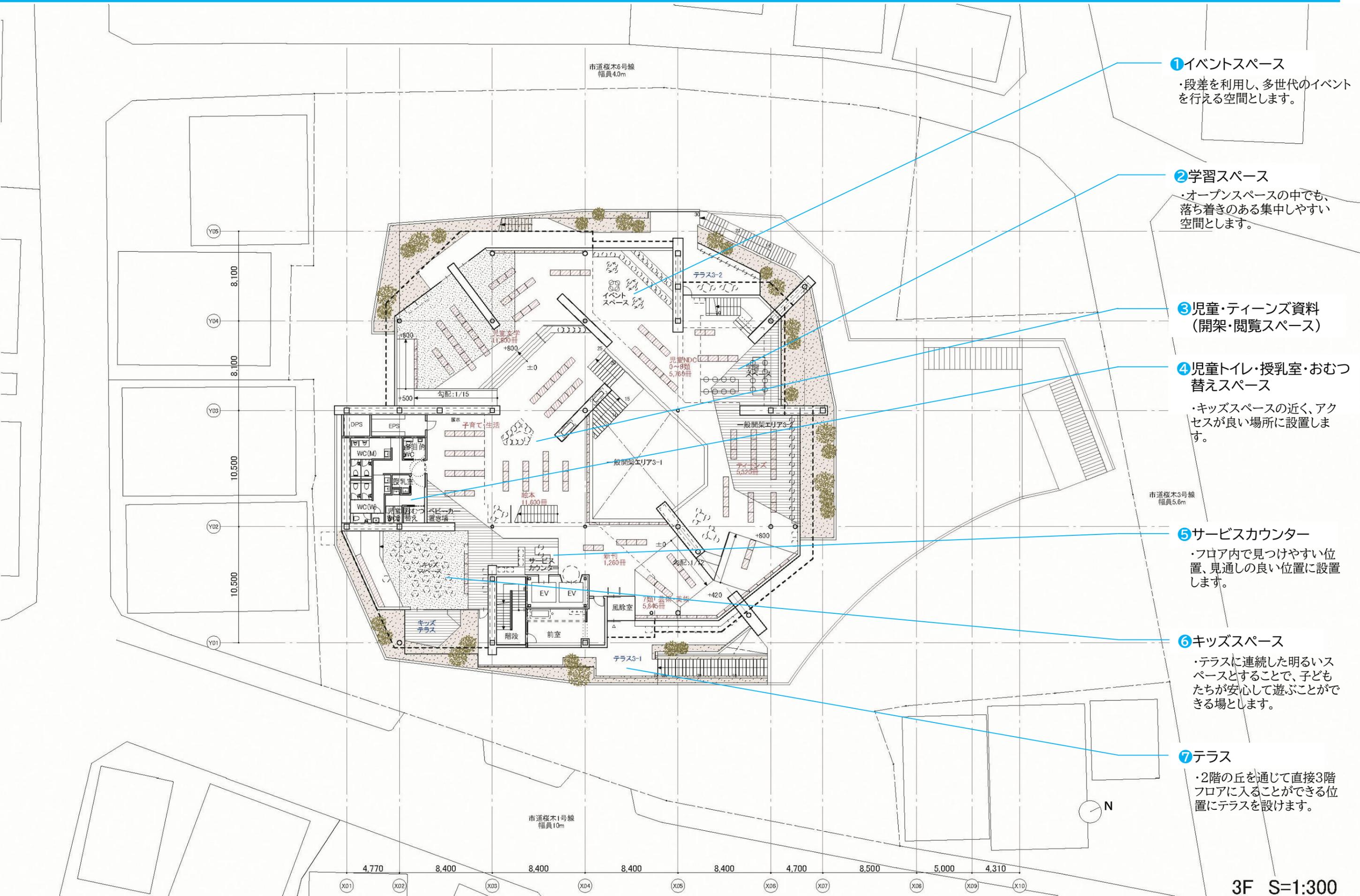
・図書館エリアや小ホールとの一体的な利活用が可能となる広場を設けます。
- ④だんだん広場**

・1F からつながる丘状の広場として、傾斜を活かし、子どもたちが遊ぶことのできる場を設けます。
- ⑤ファブスペース**

・様々な創作活動を行える場として設置します。
- ⑥サービスカウンター**

・フロア内で見つけやすい位置、見通しの良い位置に設置します。
- ⑦予約棚**
- ⑧事務室**

平面図(3F) 成長と好奇心のフロア



① イベントスペース
 ・段差を利用し、多世代のイベントを行える空間とします。

② 学習スペース
 ・オープンスペースの中でも、落ち着きのある集中しやすい空間とします。

③ 児童・ティーンズ資料 (開架・閲覧スペース)

④ 児童トイレ・授乳室・おむつ替えスペース
 ・キッズスペースの近く、アクセスが良い場所に設置します。

⑤ サービスカウンター
 ・フロア内で見つけやすい位置、見通しの良い位置に設置します。

⑥ キッズスペース
 ・テラスに連続した明るいスペースとすることで、子どもたちが安心して遊ぶことができる場とします。

⑦ テラス
 ・2階の丘を通じて直接3階フロアに入ることができる位置にテラスを設けます。

平面図(4F) 豊かな蔵書を感じる閉架フロア

市道桜木6号線
幅員4.0m

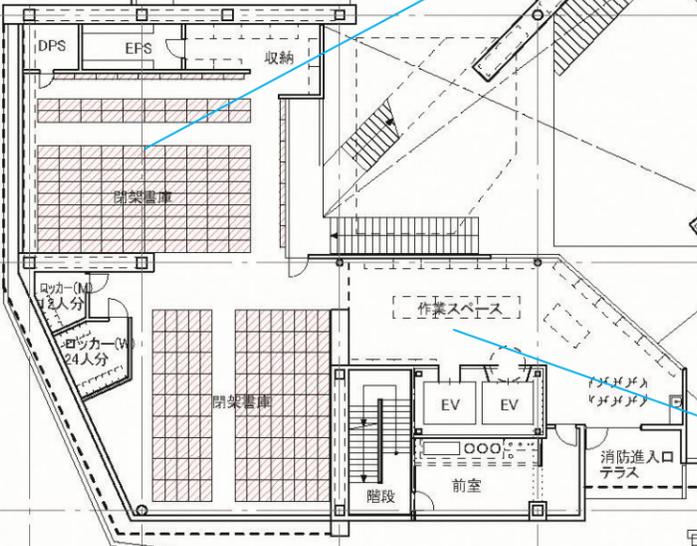
①閉架書庫

- ・利用者フロアからも豊かな蔵書を感じることができる空間とし、3階から5階への途中で閉架書庫内が見える計画とします。
- ・書庫を集約し、3階と5階の中間に配置することで、出納のしやすい計画とします。

市道桜木3号線
幅員5.6m

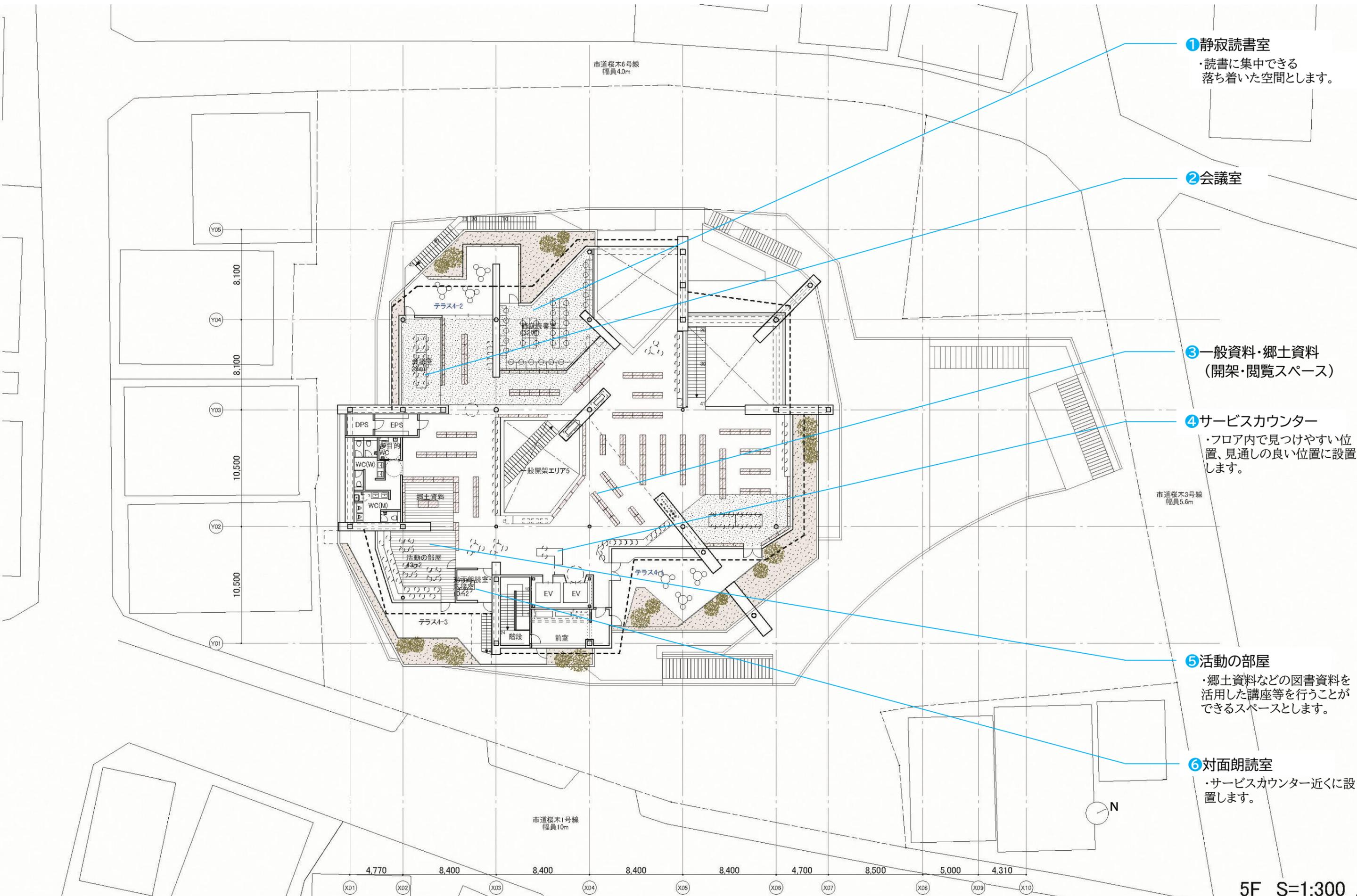
②作業スペース

市道桜木1号線
幅員10m



4.770 8.400 8.400 8.400 8.400 4.700 8.500 5.000 4.310

平面図(5F) 知と文化を集積し活用するフロア



1 静寂読書室
・読書に集中できる
落ち着いた空間とします。

2 会議室

**3 一般資料・郷土資料
(開架・閲覧スペース)**

4 サービスカウンター
・フロア内で見つけやすい位置、
見通しの良い位置に設置
します。

5 活動の部屋
・郷土資料などの図書資料を
活用した講座等を行うことが
できるスペースとします。

6 対面朗読室
・サービスカウンター近くに設置
します。